

宮城県【平成26年03月13日】発行  
 情報収集：宮城県保健環境センター [Tel:(022)257-7228]  
 配信元：宮城県地域医療情報センター [Tel:(022)221-9911]  
 (FAX 配信に関するお問い合わせは地域医療情報センターへお願い致します)

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第10週)

【傾向の凡例】  
 ◎：今後の情報に十分注意  
 ○：今後の情報に留意  
 レ：減少傾向

— 2014.3.3 ~ 3.9 ・ 第10週 患者発生数(定点医療機関) —

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	全地区 患者数	傾向	コメント																								
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼																												
インフルエンザ	343	391	526	59	306	294	32	1675	3626	◎	<p>— 今週の全数報告疾病 — ※男児、女児は6歳未満</p> <p>1類感染症：報告なし</p> <p>2類感染症：結核            塩釜管内 女性 1名            仙台管内 男性 1名</p> <p>3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症(0157)            仙台管内 女性 1名</p> <p>4類感染症：A型肝炎            仙台管内 男性 1名、女性 1名</p> <p>5類感染症：アメーバ赤痢            仙台管内 男性 1名            急性脳炎            仙南管内 女性 1名            侵襲性髄膜炎菌感染症            仙台管内 女性 1名            侵襲性肺炎球菌感染症            仙台管内 男性 3名</p> <p>— 今週の感染症のコメント —            [インフルエンザ]            仙南、塩釜、大崎、登米、仙台管内で警報継続中。            石巻管内で警報値を越えた。            栗原、気仙沼管内で注意報継続中。            [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]            栗原管内で警報継続中。</p> <p>&lt;&lt; STD 発生動向調査(月報) 2月 &gt;&gt;            (男性) (女性)</p> <table border="0"> <tr> <td>性器クラミジア感染症</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>性器ヘルペスウイルス感染症</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>尖圭コンジローマ</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>淋菌感染症</td> <td>14</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ペニシリン耐性肺炎球菌感染症</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性緑膿菌感染症</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性アシネトバクター感染症</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	性器クラミジア感染症	17	16	性器ヘルペスウイルス感染症	6	7	尖圭コンジローマ	7	1	淋菌感染症	14	0	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	15	8	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	2	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
性器クラミジア感染症	17	16																																	
性器ヘルペスウイルス感染症	6	7																																	
尖圭コンジローマ	7	1																																	
淋菌感染症	14	0																																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	15	8																																	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	2																																	
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0																																	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0																																	
咽頭結膜熱	1	1		2		10		3	17																										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	14	10	9	4	33		65	165	◎																									
感染性胃腸炎	45	56	37	22	14	18	10	210	412	◎																									
水痘	11	12	4	2	5	3	3	19	59	○																									
手足口病																																			
伝染性紅斑	2	12	3					23	40	○																									
突発性発疹	2	6	2		3	3		15	31	○																									
百日咳																																			
ヘルパンギーナ																																			
流行性耳下腺炎							1	9	10																										
急性出血性結膜炎																																			
流行性角結膜炎						1		1	2																										
RSウイルス感染症	4	5						6	15																										
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)																																			
無菌性髄膜炎																																			
マイコプラズマ肺炎		2	3	1			5	4	15																										
クラミジア肺炎(オウム病除く)								1	1																										
川崎病	1							1	2																										
不明の発疹性疾患																																			

《ウイルス分離状況》 2.24(第9週) ~ 3.9(第10週) 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 臨床研究部 ウイルスセンター提供

Flu	Para	RS	Mumps	Measles	Adeno	Entero	Rhino	HSV	CMV
24									

今年は、インフルエンザがなかなか治りません。

(コメント: 永井小児科医院 永井幸夫)